

令和5年度フロンティア化学教育研究センター  
鈴木 章記念未来創造ラボ事業概要

フロンティア化学教育研究センター（以下「FCC」という。）では、物質変換と物質創製を担う最先端化学に関する研究を行うとともに、次代を担い世界をリードする若手研究者の育成を目指して、鈴木 章記念未来創造ラボ事業として、下記事業を継続する。

1. 対象

FCC教員が行う次の研究を支援する。

- 1) 若手教員の主体的・独創的研究
- 2) 国際共同研究
- 3) 産学官連携研究

2. 応募資格

- 1) FCCの専任教員及び「北海道大学大学院工学研究院フロンティア化学教育研究センター内規」第8条第1項に規定する兼務教員のうち工学研究院の所属教員
- 2) 若手教員の主体的・独創的研究に係る提案については、前記教員のうち募集年度の11月1日現在で45歳未満であり、研究室を主宰していない准教授、講師、及び助教
- 3) その他FCCセンター長が特に認めた者

3. 提案研究の概要等

- 1) フロンティア応用科学研究棟（以下「本研究棟」という。）2階FCC実験室を使用する研究プロジェクトとする。
- 2) 若手教員の主体的・独創的研究に係る研究提案については、申請者単独あるいは複数人の研究プロジェクトとし、申請者の所属研究室で行っている研究と異なる研究内容とする。  
なお、複数人の研究プロジェクトの場合の代表者は、2. 応募資格の2)に規定する者とする。
- 3) 研究期間は、1年間から3年間を目処とし、申請時に予め定めるものとする。

なお、研究成果により当初の研究期間の延長を認めることがある。

- 4) 申請にあたっては、所定の様式に申請者（全員）の氏名、研究課題名、及び研究期間等の研究計画を記載し、FCC事務局に提出する。
- 5) プロジェクト継続の採否は、FCC評価委員会で決定する。
- 6) 研究期間内に、FCC評価委員会による中間評価を行う場合がある。  
また、研究期間終了後に、FCC評価委員会による最終評価を行うこととする。
- 7) 研究成果発表時には、「北海道大学フロンティア化学教育研究センター 鈴木 章記念未来創造ラボ」での成果であることを明記することとする。

This work was supported by the program of the "Laboratory for Future Creation in Commemoration of Professor Akira Suzuki" under the Frontier Chemistry Center, the Faculty of Engineering, Hokkaido University.

#### 4. 施設利用等

- 1) 本研究棟2階FCC実験室所定のスペース及び設備の使用を認める。
- 2) 本研究棟2階FCCセミナー室（2-05）及びミーティング室2（5-12）の使用は、FCCセンター長が必要と認めた場合に許可する。
- 3) 講演会等を開催する場合は、客員研究員室として本研究棟2-08室又は2-09室の使用を認めることがある。
- 4) スペースチャージは無料とするが、その他研究に必要とされる経費については、原則として自己負担とする。
- 5) 研究期間終了後は、採択者は利用施設の現状復帰をしなければならない。